

## 主日礼拝

2020年4月26日  
午前10時30分

## 前奏

## 参集 (報告・紹介・予定)

## 招詞

「眠りにについている者、起きよ。  
死者の中から立ち上がれ。  
そうすれば、キリストはあなたを照らされる。」  
エフェソ 5:14 (46)

## 頌栄 27 「父・子・聖霊」



ちち子せいれいのひとりの主よ、さかえとち  
からはた一だ主にあれ一、と一こしえまで一。  
アーメン。

## リタニー 「いのちを感謝して」

司式者：神さま、いのちって不思議です。  
みんな：神さまがいのちをくださいました。  
司式者：年をとった人、若い人、あの人にも  
この人にも、  
みんな：神さまがいのちをくださいました。  
司式者：人間だけでなく、木も、草も、動物も、  
みんな：神さまがいのちをくださいました。  
牧師：あなたの神、主を愛し、御声に聞き  
従いなさい。  
そうすればあなたは生きる。  
司式者：一人ひとりのいのちの豊かさが  
みんな：神さまの愛のしるしです。  
司式者：いのちを感謝し、  
手をたすさえて、わたしたちは進みます。  
みんな：いのちの源、神さまの愛に感謝して、  
アーメン。

## 祈禱

献金 主の復活に感謝して、ご用意のある方は  
献金をおささげください。

## 主の祈り

天にまします我らの父よ、  
ねがわくは み名をあがめさせたまえ。  
み国を来らせたまえ。  
みこころの天になるごとく  
地にもなさせたまえ。  
我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。  
我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく、  
我らの罪をもゆるしたまえ。  
我らをこころみにあわせず、  
悪より救い出されたまえ。  
国とちからと栄えとは限りなくなんじのもの  
なればなり。  
アーメン。

## 聖書 ヨハネによる福音書 21:1~14

新約(新共同訳) P211

その後、イエスはティベリアス湖畔で、また弟子たちに御自身を現された。その次第はこうである。シモン・ペトロ、ディディモと呼ばれるトマス、ガリラヤのカナ出身のナタナエル、ゼベダイの子たち、それに、ほかの二人の弟子が一緒にいた。シモン・ペトロが、「わたしは漁に行く」と言うと、彼らは、「わたしたちも一緒に行こう」と言った。彼らは出て行って、舟に乗り込んだ。しかし、その夜は何もとれなかった。既に夜が明けたころ、イエスが岸に立っておられた。だが、弟子たちは、それがイエスだとは分からなかった。イエスが、「子たちよ、何か食べる物があるか」と言われると、彼らは、「ありません」と答えた。イエスは言われた。「舟の右側に網を打ちなさい。そうすればとれるはずだ。」そこで、網を打ってみると、魚があまり多くて、もはや網を引き上げることができなかった。イエスの愛しておられたあの弟子がペトロに、「主だ」と言った。シモン・ペトロは「主だ」と聞くと、裸同然だったので、上着をまとって湖に飛び込んだ。ほかの弟子たちは魚のかかった網を引いて、舟で戻って来た。陸から二百ペキスばかりしか離れていなかったのである。さて、陸に上がってみると、炭火がおこしてあった。その上に魚がのせてあり、パンもあった。イエスが、「今とった魚を何匹か持って来なさい」と言われた。シモン・ペトロが舟に乗り込んで網を陸に引き上げると、百五十三匹もの大きな魚でいっぱいであった。それほど多くとれたのに、網は破れていなかった。イエスは、「さあ、来て、朝の食事をしなさい」と言われた。弟子たちはだれも、

「あなたはどなたですか」と問いただそうとはしなかった。主であることを知っていたからである。イエスは来て、パンを取って弟子たちに与えられた。魚も同じようにされた。イエスが死者の中から復活した後、弟子たちに現れたのは、これでもう三度目である。

### 賛美 402 「いともとうとき」

I love to tell the story  
詞: Katherine Hankey, 1834-1911

TELL THE STORY (HANKEY)  
曲: William G. Fischer, 1835-1912

いともとうと〜きイエスのめぐみ、つみに死にたる  
身をもい-かす。主よりたまわるてんのかて-に  
(くりかえし)  
うえしこころもいまはみちぬ。世にあるかざり、  
主のみさかえといつくし-みとをかたりつたえん。

- |   |  |
|---|--|
| 1 いともとうとき イエスの恵み、<br>罪に死にたる 身をも活かす。<br>主よりたまわる 天の糧に<br>飢えしこころも いまは満ちぬ。<br>(くりかえし)<br>世にあるかざり、主のみ栄えと<br>いつくしみとを 語り伝えん。 | 2 救いの恵み 告ぐるわれは<br>喜びあふれ 歌とぞなる。<br>滅びを出でし この知らせを、<br>あまねく人に 語り伝えん。<br>3 語り尽くせぬ イエスの恵み。<br>いとも小さき われをも召し、<br>天の世嗣と なしたまえば、<br>たれか洩るべき 主の救いに。 |
|---|--|

### 説教 「主との食事 再び」

### 賛美 524 「われらみ名により」

Draw us in the Spirit's letter  
詞: Percy Dearmer, 1867-1936

UNION SEMINARY  
曲: Harold Friedell, 1905-1958

1 われら み名により ここにつ  
2 むかし でしたちがパンとさ  
3 ひごと しょくたくを かこむわ  
どうときは いつも 主なるイエスが  
かざきとり しゅくし、 わけたように  
れらをいま、 たすけ、 はげましあう  
ともに いてくださる。 ハレルヤ、  
ともに しょくじをしよう。 ハレルヤ、  
でしと して下さる。 ハレルヤ、  
ハレルヤ、 イエスのみこころもにふれよう。  
ハレルヤ、 まじわりがつよめられる。  
ハレルヤ、 こころから主につかえよう。

### 派遣

司式者 主は言われます。  
「わたしは誰を遣わすべきか。」  
会衆 わたしがここにおります。  
わたしを遣わして下さい。

### 祝祷

### アーメン

アーメン アーメン アーメン

### 後奏

司式 佐々木 悠  
説教 向井 希夫牧師  
奏楽 大代 恵